

ヨウ素活用産学官で研究

次世代太陽電池やがん治療...

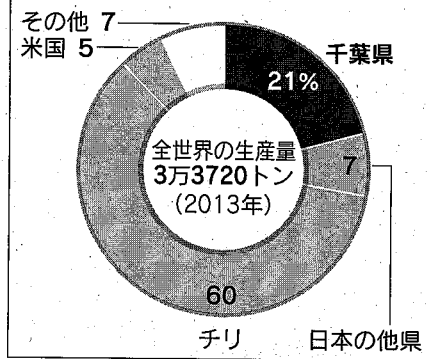
千葉大学は県内に豊富にある天然資源のヨウ素の高付加価値化に取り組む。研究拠点「千葉ヨウ素資源イノベーションセンター」(CIRIC)を新設し、来春から産学官連携で次世代太陽電池などの関連製品や抽出技術の開発に着手する。千葉県はヨウ素を含む地下水が豊富で、生産量は世界で2割のシェアがある。地域資源を有効活用し地域活性化に役立てる。

千葉大に來春、新拠点

CIRICは西千葉キャンパス(千葉市)に新設する。4階建てで、1階は交流フロア、2〜3階は実験室、4階は分析装置を配置したフロアとする。4月にも着工し、

共同研究では5社程度の参加を募る。研究テーマは「次世代太陽電池用ヨウ化鉛の安定供給」導電性に優れた有機薄膜の生産、「がん診断・治療の新展開」など。基礎的な研究から実用化を目指す研究まで幅広く手掛ける。開発した技術は県内

千葉県は世界有数のヨウ素生産地だ(千葉大資料から。生産量の地域別シェア)



ヨウ素は黒紫色の個体で、酸化しやすく臭気がある

ヨウ素は元素周期表で原子番号53(元素記号「I」として掲載される。ヨードとも呼ばれ、殺菌・消毒薬などで日常生活にもなじみ深い。レントゲン造影剤や殺菌防かび剤、工業用触媒、液晶関連、医薬品など幅広い用途がある。人間の成長にも欠かせず、ヨウ素が不足すると甲状腺肥大や発育不全などが生じる。

ヨウ素は元素周期表で原子番号53(元素記号「I」として掲載される。ヨードとも呼ばれ、殺菌・消毒薬などで日常生活にもなじみ深い。レントゲン造影剤や殺菌防かび剤、工業用触媒、液晶関連、医薬品など幅広い用途がある。人間の成長にも欠かせず、ヨウ素が不足すると甲状腺肥大や発育不全などが生じる。

自律走行ロボ歩道実験

千葉市・千葉大 幕張新都心で

千葉市は11日、人の操縦なしに自律走行する車輪付きロボットの実証実験を幕張新都心地区で始める。発表された。17日から2月末にかけて、同地区内の歩道を走らせ、自律走行の安全性を検証する。同市は2020年までに地区内で1人乗り移動機器「パーソナルモビリティ」の実用化を目指すとしており、実証実験で

課題を洗い出す。実験は千葉大学と共同で実施する。同大学の大学院で実施する。ロボットは幅と川一也准教授が開発した自律走行ロボットを時速3km程度のスピードで走らせる。ロボットは幅と川一也准教授が開発した自律走行ロボットを時速3km程度のスピードで走らせる。ロボットは幅と川一也准教授が開発した自律走行ロボットを時速3km程度のスピードで走らせる。

約60センチで、人を乗せずに走る。安全を確保するため、歩道を走行する際にはロボットの前後に保安員を配置する。

同市は国家戦略特区の制度を活用し、20年東京五輪・パラリンピックまでにパーソナルモビリティの実用化をめざしている。

国内外の口座一括管理

京葉銀 取引先にシステム提供

京葉銀行は11日、企業コーポレーションの日の資金・財務管理システムを本法人と業務提携したと発表。資金管理業務を

京葉銀行は11日、企業コーポレーションの日の資金・財務管理システムを本法人と業務提携したと発表。資金管理業務を

新車登録、2カ月連続増 12月県内

千葉県内の新車販売に回復の兆しが見え始めた。2016年12月の県内新車登録台数は(軽自動車を除く)は前年同月比7.7%増の1万1770台、70台で2カ月連続で増加。軽自動車の販売台数は前年同月比5.48%増の5483台、小型乗用車が19.6%増の4700台だった。日産自動車は16年11月に発売した新型

千葉県軽自動車協会がまとめた16年12月の軽自動車販売台数も1年2カ月ぶりに前年実績を超えた。主力の乗用車が4.4%増の4476台と増加に転じたため。燃費データ不正問題や軽自動車税引き上げなどの影響で低迷

「昭和の広重」故ジョブズ氏も愛した版画家



東京大田区は地元ゆかりの版画家・川瀬巴水の作品をあしらった商品の販売を始めた。切手と一筆箋、塗り絵の3種類で、それぞれ900部限定。巴水の作品は米アップル共同創業者の故スティーブ・ジョブズ氏が収集していたことも知られる。

切手に塗り絵、一筆箋

地元・大田区が企画

などを図柄に使った82円切手の台紙付き5枚セット(850円、写真)や塗り絵5枚組(2000円)、一筆箋(3000円)を用意した。博物館や本庁舎などで扱う。これまでもクリアファイルや絵はがきがあったが、品ぞろえを増やした。

風景版画を多く手掛けた巴水は「昭和の広重」と呼ばれ、海外で人気が高いという。

大田区で30年以上にわたって制作活動に携わった博物館の担当者は「巴水の存在をもっと多くの人に知ってもらいたい」と話す。

川瀬巴水の新グッズ発売

高付加価値化の余地がある。ただ地下水を大量にくみ上げると地盤沈下し、天然ガスやヨウ素を含んだ地下水は600年分の埋蔵量があるとされ、CIRICはヨウ素の抽出効率の改善とリサイクルの推進にも取り組む。リサイクル率は現在30%程度で、これを50%に引き上げることを目指す。

小中英語教育 明海大が支援

足立区と協定

東京都足立区は11日、明海大学と英語学習に関する連携協定を結んだ。外国語教育を専門にする大学教員に小中学校での英語指導のノウハウを提供してもらうほか、小中学生が大学の留学生と交流する機会も設ける。2020年五輪に向けてグローバル人材の育成を目指す。

来年度から小中学校8校程度を英語力強化の重点校として指定。大学教員が授業のあり方をチェックする仕組みを取り入れる。英語学習の意識調査でも連携し、子どもの英語力と教員の指導力の向上につなげる。

20年度から小中学校でも英語が必修になるため外国語教育の充実を図る。していたが、ここにきて底打ち感が出ている。

「ノート」が前年比2倍超の550台売れた。このほか、トヨタ自動車の新型車なども引き続き好調だった。

千葉県軽自動車協会がまとめた16年12月の軽自動車販売台数も1年2カ月ぶりに前年実績を超えた。主力の乗用車が4.4%増の4476台と増加に転じたため。燃費データ不正問題や軽自動車税引き上げなどの影響で低迷

京浜急行電鉄は2019年春にも、東京・浜松町でビジネスホテル「京急EXイン浜松町・大門駅前(仮称)」を開業する。羽田空港への移動が便利な立地を生かし、ビジネス需要に加え、増加が予想される訪日外国人客の取り込みを目指す。京急は17年度中に、空港至近の大田区羽田でもビジネスホテルの開業を予定している。地上14階建てで延べ床面積約2800平方メートル。客室は135室を確保する予定だ。

京葉銀行は11日、企業コーポレーションの日の資金・財務管理システムを本法人と業務提携したと発表。資金管理業務を

京葉銀行は11日、企業コーポレーションの日の資金・財務管理システムを本法人と業務提携したと発表。資金管理業務を

京葉銀行は11日、企業コーポレーションの日の資金・財務管理システムを本法人と業務提携したと発表。資金管理業務を

渋谷区・キューピー連携

食育や介護食の普及活動

渋谷区とキューピーが連携し、食育や介護食の普及活動を行う。キューピーは食育や介護食の普及活動を行う。渋谷区とキューピーが連携し、食育や介護食の普及活動を行う。